

2023年2月27日  
株式会社日立システムズ

## DataRobot を活用した「AI 活用 データ分析代行サービス」を提供開始 日立システムズのデータサイエンティストがデータの加工から運用までを全面サポート

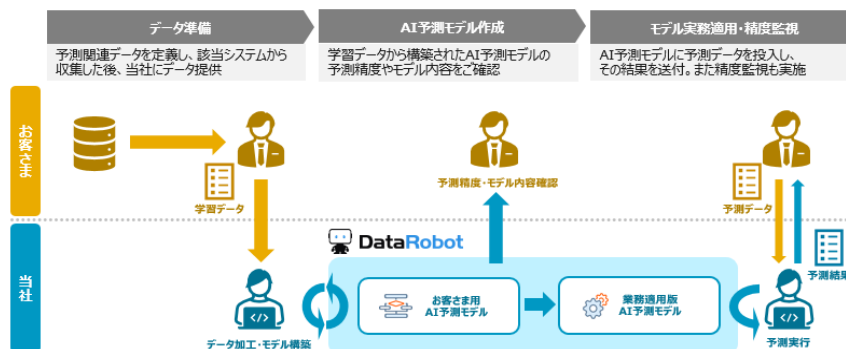
株式会社日立システムズ（代表取締役 取締役社長：柴原 節男、本社：東京都品川区／以下、日立システムズ）は、「AI 活用 データ分析代行サービス」の提供を本日から開始します。本サービスは AI のリーディングカンパニーである DataRobot, Inc.（CEO Debanjan Saha、本社：アメリカ合衆国マサチューセッツ州）の AI プラットフォームを活用したもので、日立システムズがお客さまのデータを預かり、AI 予測モデルを構築し、予測結果を提供するアウトソーシング型のサービスです。日立システムズのデータサイエンティストが AI 導入を全面的にサポートし、費用を抑えて AI を導入することが可能になります。

日立システムズは本サービスを通じて、これまで費用や人材の不足等の理由から AI 導入が進んでいない中堅・中小企業を中心に AI 導入を後押しすることで、企業の DX を支援していきます。

### ■サービス概要

日立システムズでは、お客さまのデータサイエンティストが DataRobot を直接操作して AI を構築する従来のライセンス提供型サービスを 2020 年 9 月から提供しています。今回、ライセンス提供型サービスに加えて、DataRobot の AI プラットフォームを活用し、お客さまが用意したデータを日立システムズのデータサイエンティストが加工し、AI 予測モデルを構築し、実際に学習データを入力して得られた予測結果を提供するアウトソーシング型サービスを開始します。予測結果提供後も予測精度を見ながら日立システムズが AI 予測モデルを運用・監視していきます。

ライセンス導入費用を抑えて、予測結果を評価することができるため、1 部署や 1 テーマごとなど、AI 導入をスタートさせることが可能です。例えば、基幹システムなら、受注・販売・在庫データを活用した需要予測や営業ターゲットングモデル、生産管理データを活用した不良品検知や設備異常検知モデル、労務管理データを活用した採用・休職・退職予測モデルなど、対象業務の予測精度改善・効率化のために AI を活用したいと考えながらも、費用面や社内に構築・運用を行うデータサイエンティストが不在などの課題から、導入が進んでいない企業や、ライセンス購入を検討するために、予測モデルの評価・検証を行いたい企業に適したサービスです。



サービスの概要

## ■「AI 活用 データ分析代行サービス」のメリット

### (1) AI 導入の費用が抑えられる

1 モデルから利用できるため、ライセンス提供型より費用を低く抑えられます。お客さまが DataRobot を直接操作して AI を構築するライセンス提供型とは異なり、日立システムズのデータサイエンティストが構築した AI 予測モデルを利用できます。また、ライセンス購入前の DataRobot の導入評価をサービス提供型で実施することが可能です。

#### 製造業における想定使用ケース



### (2) 自社のデータサイエンティストが不要

AI 予測モデルの構築は日立システムズで行うため、お客さま側での複雑な構築作業が不要です。お客さまが改善・効率化を図りたい業務の内容や、何を予測したいのかを詳しく伺い、お客さまには予測に使うデータを準備いただくだけで、日立システムズが入力データに加工し、AI 予測モデルを実行し、予測の結果や、予測理由を提供します。

### (3) 自社での AI 運用不要

構築した AI 予測モデルの監視を行い、精度低下の兆しが出た場合には連絡のうえ、最新の AI 予測モデルに再構築\*が可能です。また、結果を返すだけでなく、他の業務システムとの連携\*も支援することが可能です。

\*モデル再構築、他システム連携は別途費用が発生します。

## ■背景

AI 技術の活用は加速しており、デジタルトランスフォーメーションに取り組むための重要なツールになっています。内閣府では、大きな価値の創出につながる AI の社会実装の促進戦略として、国の AI 戦略の基本的な考えを明確にした「AI 戦略 2022」を公表し、さまざまな産業における AI の活用を推進しています。

しかし、経済産業省が 2020 年 3 月にまとめた「戦略的 基盤技術高度化・連携支援事業（中小企業の AI）活用促進に関する調査事業」の報告書によると、下記が AI の活用が進まない主な理由と考えられます。

- ・経営層が AI を理解するための相談相手や学ぶ場がない
- ・AI 開発を行う投資の余力がない
- ・データ不足または活用方法がわからない
- ・AI 人材不足

今回、提供開始する「AI 活用 データ分析代行サービス」は、これらの課題を抱える中堅・中小企業を支援するサービスとして、また DataRobot のライセンス購入を検討するために、予測モデルの評価・検証を行いたい大手企業に向けて、新たに開発されました。日立システムズは、DataRobot をはじめとするさまざまな AI ツールや、AI ツールを活用した幅広いデータ分析サービスなどにより、お客さまの規模や、ニーズに合わせた AI 活用を支援してまいります。

■ DataRobot, Inc. ジャパン カントリーマネージャー 馬場 道生 様のコメント

DataRobot を導入いただくお客さまが増加している中で、お客さまの AI 人材不足を解決できる新たなサービスが提供されることをとてもうれしく思います。お客さま自身のデータを用いて、DataRobot を活用することでさらなるビジネスインパクトが生まれると確信しています。今後、より多くのお客さまが DataRobot を活用し、ビジネスを加速できることを期待しております。

■【導入企業さま登壇！】「DataRobot」で適正な取引価格を実現した AI 事例セミナー

2月27日（月）、2月28日（火）10:00～16:00（事前登録制・無料）

本セミナーは、オンデマンド配信です。

開催期間中に3セッションをすべて自由にご覧いただくことが可能です。

詳細は <https://www.hitachi-systems.com/seminar/2023/20230228a.html> をご覧ください

■DataRobot について

DataRobot の AI プラットフォームは次世代の AI です。DataRobot のビジョンは、あらゆるデータタイプ、あらゆるユーザー、あらゆる環境を統合し、業界・業種を問わずすべての組織に対して重要で価値あるビジネスインサイトを提供することです。DataRobot は、Fortune 50 の 3 分の 1 を含む、業界や業種を超えたグローバルな顧客から信頼を得ています。

詳細は <https://www.datarobot.com/jp/> をご覧ください。

■日立システムズが提供する AI 活用支援サービスについて

<https://www.hitachi-systems.com/ind/ai-solution/>

■日立システムズが提供する DataRobot について

<https://www.hitachi-systems.com/ind/datarobot/>

■日立システムズについて

日立システムズは、企業理念に掲げる「真に豊かな社会の実現に貢献する」ために、日立グループの社会イノベーション事業を支える一員としてサステナビリティ経営を推進しています。強みであるさまざまな業種の課題解決で培ってきたお客さまの業務知識やノウハウを持つ人財・サービスインフラを活用したデジタルライゼーションサービスと、日立の先進的なデジタル技術を活用した Lumada やパートナーと連携した独自のサービスによりお客さまのデジタル変革を徹底的にサポート。社会課題を解決するだけでなく、社会価値、環境価値、経済価値の 3 つの価値向上に貢献し、人々の Quality of Life の向上とお客さまの価値向上を支援してまいります。

詳細は <https://www.hitachi-systems.com/> をご覧ください。

■お客さまからのお問い合わせ先

株式会社日立システムズ お問い合わせ Web フォーム

<https://www.hitachi-systems.com/form/contactus.html>

以上

\*記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。